

ほくと

2005

1

Vol.

議会だより

まいあがれ夢と希望の北杜市へ



下教来石のししまい(白州町)

創刊号



北杜市議会スタート!P2~5
 議長選出 臨時議会
 議長就任あいさつ・議会構成

12月定例議会 初の一般質問に22議員P8~19

【声のひろば】7人.....P20~21

北杜市ウォッチングP22

議長就任のあいさつ

北杜市議会議長 清水壽昌



北杜市議会広報が創刊されるにあたり、ごあいさつ申し上げます。

不肖私、第一回北杜市議会におきまして、議長を拜命することとなりました。身にあまる光栄でありますと同時に、その職責の重さ、大きさを思うとき、身も心も引き締まる思いでございます。微力ではありますが、全力で誠心誠意この職務に取り組んでまいれる決意であります。

議員の皆様方、市民の皆様方の絶大なご支援ご協力をお願い申し上げます。

今や、全国的に少子高齢化、苦しい財政状況の中で行財政改革が進められ、地方分権政策と相ま

つて、地方の自己責任が問われる時代となりました。

我が北杜市は、豊かな自然環境を背景に、「水と太陽の恵みを、次世代へ伝えるために」を、まちづくりの基本理念として、「七つの個性が光るネットワーク都市」「人と自然が躍動する環境創造都市」を目指して、新市将来構想が策定されました。一つひとつの目標を達成するためには、行政と議会が「丸」となり、市民の皆様方の英知を結集する中で、ねばり強い取り組みが必要であると考えます。「和」をもって民主的な議会運営に心がけ、新生北杜市の基盤づくりに全力で取り組んでまいります。

市民の皆様方のご指導ご鞭撻を重ねてお願い申し上げますと同時に、皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げます、あいさつといたします。

第1回臨時議会

初代議長に清水壽昌氏

副議長は古屋富藏氏を選出

第1回臨時議会は、12月7日から10日の4日間にわたって開かれました。

平成16年11月1日に北杜市が合併し、11月28日執行の市議会議員選挙後の初議会であり、7日には議長に清水壽昌議員、副議長に古屋富藏議員を選出しました。

また、各常任委員会等の構成、特別会計264件の条例、24件の予算の専決処分、監査委員、公平委員等の選任に対する同意を行いました。

平成16年度一般会計暫定予算

歳入歳出169億5,661万円を可決

平成16年度特別会計暫定予算（おもなもの）

| | |
|------------------|--------------|
| 国民健康保険会計 | 20億0,175万6千円 |
| 老人保健特別会計 | 22億2,311万5千円 |
| 介護保険特別会計 | 10億9,768万8千円 |
| 簡易水道事業特別会計 | 17億8,973万5千円 |
| 下水道事業特別会計 | 33億0,564万7千円 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 12億9,594万円 |
| 辺見診療所特別会計 | 8,912万6千円 |
| 白州診療所特別会計 | 4,539万1千円 |
| 土地開発事業特別会計 | 5,816万8千円 |
| 白州尾白の森名水公園事業特別会計 | 2,390万7千円 |
| 武川ふるさと活性化事業特別会計 | 4,946万9千円 |
| ケーブルテレビ事業特別会計 | 9,439万9千円 |
| 温泉事業特別会計 | 5,605万8千円 |
| 居宅介護支援事業特別会計 | 1,675万4千円 |

就任のあいさつ



北杜市議会議長

古屋富藏

北杜市が誕生し、初めての希望に満ちた新春を、市民の皆様とともに迎えられることを心

からお慶び申し上げます。

昨年十一月、北杜市が誕生して二カ月、臨時議会十一月定例議会と条例・暫定予算・平成十六年度予算が成立、順調な議会運営ができましたことを報告いたします。

また、戦後六十年の節目の年を迎え、改めて平和を祈念いたします。

北杜市は、八ヶ岳・甲斐駒ヶ岳・秩父山系や富士山に囲まれた自然豊かな地であり、水と緑と太陽に恵まれた市であります。

新市まちづくり基本理念を柱に少子高齢化社会における福祉・介護・医療の充実と、安心して子どもを産み育てることができ環境づくり、さらに、豊かな自然を生かした産業の推進と文化の創造に努力し、「人と自然が躍動する環境創造都市」の礎を築くため、副議長としての責務に全力を傾注する覚悟です。

なにとぞ、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第1回臨時議会



議場のようす

議員提出議案 五件を可決しました

- 北杜市議会委員会条例
 - 北杜市議会事務局設置条例
 - 北杜市議会広報発行に関する条例
 - 北杜市議会会議規則
 - 北杜市議会傍聴規則
- 以上、五議案が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。



議会選出の監査委員に

篠原 眞 清 議員

北杜市監査委員に次の三氏が選任されました。北杜市監査委員に次の三氏が選任されました。篠原眞清氏が選任され、議会はこれに同意し、議選出の監査委員にしました。

- 清水 喜一（高根町）
- 内藤 紀宏（長坂町）
- 篠原 眞清（明野町）

公平委員を選出

- 日向 信雄（須玉町）
- 小池さく子（白州町）
- 齋藤 齋（大泉町）

選挙管理委員を選任

- 平田 忠壽（武川町）
- 三井 敏彦（明野町）
- 小宮山福男（大泉町）
- 井上 安秋（白州町）

教育委員を選任

- 藤森 三男（大泉町）
- 向井 敦子（長坂町）
- 小清水淳三（高根町）
- 櫻井 義長（須玉町）
- 島口 邦昭（白州町）

農業委員を選任

- 平井 照芳（長坂町）
- 長坂 征夫（武川町）
- 矢崎二女子（須玉町）
- 篠原 孝子（明野町）

固定資産評価審査委員会委員

- 清水 忠孝（明野町）
- 小尾 誠之（高根町）
- 伏見 公介（武川町）

臨時議会の会期日程

| 第一日 | 第二日 |
|-----------------|--------------------|
| 十二月七日（火） | 十二月八日（水） |
| 開会 | 市長提出議案の上程 |
| ・ 仮議席の指定 | ・ 協議会 |
| ・ 議長選挙 | ・ 市長提出議案の説明・質疑 |
| ・ 議席の指定 | 第三日 |
| ・ 会議録署名議員の指名 | 十二月九日（木） |
| ・ 会期の決定 | ・ 協議会 市長提出議案の説明・質疑 |
| ・ 副議長の選挙 | 第四日 |
| ・ 議員提出議案 | 十二月十日（金） |
| ・ 議会広報編集特別委員会設置 | ・ 市長提出議案 討論・採決 |
| ・ 常任委員の選任 | 開会 |
| ・ 議会運営委員の選任 | |
| ・ 議会広報編集特別委員の選任 | |

会の構成

します!

総務常任委員会
企画・財務・税務・
選挙・人事・消防等
の事務・事業に関す
る審査・調査

文教厚生常任委員会
教育・文化・福祉・
環境等の事務・事業
に関する審査・調査

建設経済常任委員会
都市計画・建設・土
木・災害復旧・農林・
商工等の事務・事業
に関する審査・調査



委員長
秋山九一(65)
長坂町

総務常任委員会



委員
日向 万仁(50)
高根町



委員
保坂多枝子(52)
高根町



委員
小澤 寛(70)
須玉町



委員
小林 忠雄(65)
須玉町



委員
清水 壽昌(61)
明野町



副委員長
植松一雄(62)
白州町



委員
小澤 宜夫(52)
武川町



委員
細田 哲郎(60)
白州町



委員
浅川 哲男(72)
大泉町



委員
中村 隆一(66)
長坂町



委員
小野喜一郎(62)
長坂町



委員
小林 保壽(57)
高根町

文教厚生常任委員会



委員
坂本 治年(63)
高根町



委員
内藤 昭(61)
須玉町



委員
内田 俊彦(43)
須玉町



委員
篠原 眞清(54)
明野町



副委員長
千野 秀一(57)
大泉町



委員長
渡邊 陽一(63)
白州町



委員
風間 利子(67)
武川町



委員
岡野 淳(49)
大泉町



委員
田中 勝海(63)
長坂町



委員
鈴木今朝和(66)
長坂町



委員
中村 勝一(63)
高根町



委員
古屋 富藏(68)
高根町

白倉市長の所信表明

北杜市がスタートして最初の12月定例議会において、白倉政司市長は、新生・北杜市の市政を担っていくにあたり、基本的な考えを述べました。

以下はその要約です。

平成十六年十二月定例市議会の開会に当たり、私の市政を担う基本的な考え方につきまして申し上げ、議員各位ならびに市民の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

今、県内外を問わず、改革をして新しい時代を築こうとしています。そして、多くの方々が、この時代のことを「第三の改革」と呼んでいます。この改革は「始まり」あるいは「きつかけ」が必ずしもはつきりしないことです。明治維新は、諸外国からわが国への開国圧力という、大変分かりやすい「始まり」がありました。また、戦後の改革は、一九四五年の敗戦という大きな事件がありました。

こうした。このような状況を踏まえ、私は北杜市のスタートに当たり、次のような基本的な考え方を持って市政を運営したいと思っております。

平成十六年十一月に生まれた北杜市は、甲斐駒ヶ岳をはじめとする南アルプス、八ヶ岳連峰、金峰山、瑞牆山、茅ヶ岳、また富士山が望める美しい山々に囲まれ、総面積五七〇平方km、風薫る緑の丘に、豊かな大地。清らかで豊富な水資源。雨量が少なく、スカッとさわやかな高原性の気候。日本で一番長い日照時間、いわば太陽日本一の郷でもあります。また教育・人づくりに大変熱心で、粘り強く、実直な県民性を持つています。これらは、私たち市民の誇りであり、これからも大切に守り、育てていきたいと考えます。一方、これからはますます地域間競争が激しくなる時代が到来しました。私は、北杜市の「地域力」アップに全力であたります。このため、教育力・

福祉力・産業力の三つの力の向上を図ることがきわめて重要であり、その

施策の大綱

1 教育文化に輝く杜づくり

人づくりは政治の原点であります。原っぱ教育でたくましく、心豊かな人づくりを提唱したいと思えます。思いやりをもち、人に迷惑をかけない温かい心の人間性の育成、汗をかくことの尊さや協調性をしっかりと育み、心身ともにたくましい子どもたちを育てることが重要です。また、この歴史ある北杜市は、縄文時代から栄え、薫り高い伝統文化、天然記念物、神社仏閣が多く、埋蔵文化財も市内全域に点在しております。地域の宝として、本市の貴重な財産として継承しつつ、新しい文化の創造もあわせ、各種文化事業の展開を図っていきたいと思えます。

ために、「七つの杜づくり」を政策の柱にして、市政を推進してまいります。

2 産業を興し富める杜づくり

「経世済民」と申します。世の中を治め、人民を救う、の意味です。市民のために産業を興し、若者が定住できる、働く場の確保は急がなければなりません。また、水田の圃場整備は歴史的な大事業でした。明野地区の畑総事業を始め、畑地帯の圃場整備や営農形態に応じた、きめ細かい整備を推進し、近い将来、農業形態に予想される農業形態に添っていきたいと思えます。北杜市には、観光資源

3 安心、安全で明るい杜づくり

誰もが安全で、安心して暮らせるふるさとでありたいと願っています。生涯を通じた健康づくり推進のため、塩川病院、甲陽病院等、医療機関の充実や、健康管理に積極的にあたり、少子化対策や子育て支援のひとつとして、小児科医の設置もぜひ考えていきたいと思えます。新潟中越地震、台風災害等を契機として、まちの安全性に対する人々の意識は高まっております。災害に強いまちづくりが求められています。こうした中、災害に強い、安心して生活できるまちづくりを進めていきます。



自然のなせるわざ

4 基盤を整備し 豊かな杜づくり

環境や景観に配慮したまちづくりを進めるとともに、都市計画区域を設定し、安全で快適な市をつくっていかねければなりません。生活基盤の整備では、インターや駅に向かっての道路整備も必要です。

住民の日常生活に欠かれない生活道路については、公共施設の有機的活用と、生活のより一層の

利便性を図るための、インフラ整備を進めます。

5 環境日本一の 潤いの杜づくり

北杜市の自然の素晴らしさは、自他共に認めるところであり、この自然を大切にし、人と自然が共生する、潤いのあるまちづくりを進めます。

日本一のミネラルウォーターの里

日本のミネラルウォーターの約三十%を白州町から生産、出荷しているといわれており、法人とも協力し、また、法人に応分の負担を求め、水清き日本一の里を守ります。日本一の太陽いっぱい

茅ヶ岳山ろくは、日照時間日本一の里です。この現実とイメージを全力で活用し、産業と結びつけ、生かしていきたいと思えます。

緑豊かな里をつくる緑豊かな大地は大切です。先人、先輩が育てた緑、資源を育てるため、間伐を促進し、北杜の山

は違う、素晴らしいと言われるよう、地主の理解を得ながら緑をさらに育てていきたいと考えます。

本市は、自然と共存しながら、良好な環境を次世代へ引き継ぐため、直面している地球温暖化問題や、新たな環境問題への取り組みを進めねばなりません。

ごみ減量化、リサイクル対策にも積極的に取り組み、省資源、省エネルギー対策にも力を注ぎ、明野最終処分場建設に向かって、全力であたる決意であり、市民はじめ関係者のご理解とご協力をお願いいたします。

6 交流を深め 躍進の杜づくり

本市では、ポール・ラッシュ、浅川兄弟、カナダとの国際交流や国内の数々の姉妹交流を大切にしていきたいです。

新市になったことを契機に、市民訪問団や市民団体の相互交流をはじめ、諸行事、催しへの参加、

職員の相互派遣などを通じた交流を図っていくとともに、民間レベルでの商取引など、交流により

他を知り、文化振興を図り、市民自ら研鑽を積み、さらに品格の高い魅力あふれる北杜市を創りたいと思います。

7 連帯感のある 和の杜づくり

北杜市は、七つの町村が大同合併し生まれた市です。それらの地域特性を大切にしながら、地域と地域が手を結び、「和」のある北杜市をつ

くらなければなりません。市民の声が市政に反映できる仕組み、合併による問題をより少なくするため、地域委員会を市長の諮問機関として設置しました。

求し、常に取り組みなければならぬ自治体の大命題です。

市民との協働や公と民の役割を分担するなど、既存の行政システムを構造的に変革する、大胆で思い切った行財政改革の断行が不可欠であり、推進してまいります。

最後に、市民一人ひとりが責任を持って自分たち自らが考え、自らの行動によって地域をつくる時代に入ったということです。私たちのふるさと

は、市民の力と団結で築く時代に入ったということだと認識しています。以上、私なりの郷土感、北杜市スタートに当たつての目指す北杜市、基本的姿勢、そして政策の柱、これからもやらなければならぬ行財政改革を述べさせていただきます。よろしくご協力をお願いいたします。

12月 定例議会 一般質問

12月議会では22人の議員
が質問に立ちました。
これはその要約です。

平成16年12月定例会は、12月15日から24日までの10日間にわたって開かれました。

合併後初の定例議会であり、市長所信表明、提出議案の説明、条例制定および改正、一般会計・特別会計の補正予算等が提出され、いずれも原案通り可決されました。

一般質問は、22人の議員が当面する重要な問題について、活発な議論を展開し、12月24日に閉会しました。

平成16年度 北杜市一般会計予算

単位：万円

歳入（おもな財源）

| | |
|----------------|--------------------|
| 市債(借入金) | 57億2,970万円(32.61%) |
| 地方交付税 | 32億4,313万円(18.46%) |
| 県支出金 | 18億3,021万円(10.42%) |
| 諸収入 | 18億2,756万円(10.40%) |
| 国庫支出金 | 18億0,266万円(10.26%) |
| 市税 | 11億2,804万円(6.42%) |
| 繰入金(基金・特別会計より) | 8億7,686万円(4.99%) |
| 地方譲与税 | 2億6,410万円(1.50%) |
| 分担金・負担金 | 2億5,443万円(1.45%) |
| 使用料・手数料 | 2億4,019万円(1.37%) |
| 自動車取得税交付金 | 1億1,611万円(0.66%) |
| その他 | 2億5,548万円(1.45%) |

歳出（おもな使いみち）

| | |
|------------|--------------------|
| 公債費(借入金返済) | 29億8,532万円(16.99%) |
| 農林水産業費 | 29億3,244万円(16.69%) |
| 総務費 | 27億2,224万円(15.49%) |
| 民生費 | 23億3,309万円(13.28%) |
| 教育費 | 21億3,287万円(12.14%) |
| 土木費 | 19億8,671万円(11.31%) |
| 衛生費 | 16億9,587万円(9.65%) |
| 商工費 | 3億2,770万円(1.86%) |
| 消防費 | 2億3,476万円(1.34%) |
| 災害復旧費 | 1億0,249万円(0.58%) |
| 議会費 | 7,693万円(0.43%) |
| 予備費 | 3,000万円(0.17%) |
| 労働費 | 797万円 |
| 諸支出金 | 3万円 |

末尾四捨五入のため構成比の計は100%になりません

人と自然が躍動する 環境創造都市の実現を

ほか1件

植松一雄議員

白州町

問 行財政力の強化が求められる中、新市建設計画の具体的施策や優先順位などの決定は。市民が心豊かに生活できるように行政執行者の市長と、政策を立案する議会とが両輪となり、時代を先取りした論議が必要だが。

市長 合併特例債を活用し、実効性ある事業を計画的に実施するので理解協力を願う。

行政情報公開促進を
問 公正で透明な市政運

営には、行政情報の公開と提供として説明責任の充実が不可欠であるが。

市長 情報共有化のため市政の情報提供と説明責任を果たす。

道路網の整備促進を
問 市内中心部と遠隔地との距離と時間を短縮し、円滑な交流と均衡ある発展を図るべきだが。

市長 北杜市と県の道路整備計画を一体として計画的に整備する。

問 県道台ヶ原長坂線は途中まで測量済みだが、進捗の遅延を懸念する。横手日野春須玉線の早期改良を望むが。

市長 国道20号から花水橋間は県の理解をいただき近々発注の予定、横手日野春停車場線も県で前向きに検討中。

少子高齢化対策など
問 乳幼児と児童の医療費補助拡大等で安心して子育てできる環境の整備。若い人が地域に根付

き活躍できる企業の誘致。男女共同参画社会実現に向け、市のプランと条例の早期制定。お年寄りの不安を軽減する医療福祉と移動手段の確保は。

市長 新年度予算の中で検討。少子化社会解消のために男女共同参画プランと条例を早期制定。医療は更なる充実を図る。

自然環境との共生を
問 地下水資源の大量採取には、法定外目的税徴収による環境保全対策の

早期実施を望むが。

市長 水資源を永遠に保全するため、法定外目的税について研究する。

問 地下水採取はある企業の白州工場で日量七〇〇トン。目的税リッター五十銭で年間一億二、七五五万円、他の企業の採取量を同等として二億五、五五〇万円、この財源で将来にわたり採取できるよう保全を。

市長 この問題には真剣に応えていく。

合併協定の調整・ 検討項目の取り組みは

ほか1件

林 泰彦議員

白州町

問 新市で早期に手がける課題は、合併協定九十項目の中で調整・検討することになっている数多くの項目への取り組みであるがその対応は。

また、旧町村から持ち寄る基金、財産、債務等の実績は。

36項目を検討中
市長 早期に調整・検討する項目は二十九項目で、細部事務項目を含めると三十六項目あるが、すでに各部署で検討作業を進

めており、条例として専決し機能しているものもある。

上水道の区域や料金、加入負担金の調整、友好都市等の対応、農業、観光など集客施設の取り扱いはしばらく時間を要するが、早く方向づけができるよう全力で取り組む。

また、約束されている国保・介護保険や上水道事業、財産、債務の持ち寄り実績は、それぞれ旧町村から新市へ引き継がれている。

新市建設計画に
どう取り組み
問 新市建設計画実現促進のため新市政は、財源確保をどのように取り組むのか。

また、市内の交流を容易にするため、道路整備を急ぐよう県へ要請すべきではないか。

17年度に
総合計画を策定
市長 新市建設計画では、北杜市総合建設計画を速

やかに策定することになっているので、住民アンケートを十六年度中にまとめ、各種組織代表者や公募による人々で検討を重ね、十七年度に総合計画を組織し、十一月ごろ策定する目標で取り組む。

財源確保は、地域間の財政格差が生じないよう、税源移譲が着実に実行されるように、知事会や地方六団体

と連携して国へ強く要望する。

また、調和と連帯感のある市にするため道路整備は不可欠であり、道路計画を早急に作成し、県へ整備を強く要請する。



人気を呼ぶ道の駅

市民フォーラムの開催を

ほか3件

浅川哲男議員

大泉町

問 市政の抱える山積する諸課題など市民の理解を求め、市民の声を聞くために年一回ぐらい各町を回り、市民フォーラムを開催すべきではないか。

前向きに検討

市長 市民の連帯感は大切であり、公聴という意味合いからも、前向きに検討したい。

新市建設計画の内容は

問 合併特例債等による総金額と各町への配分

額は。平成十七年度普通建設費五十八億五百万円への配分予算見込額は。建設計画の見直しはできるか。

市長 総額は二百九十億円で合併後の十年間の事業費である。効果面と優先順位など見定め執行する。三年を一つの区切として、そのつど計画の見直しをする。

宅地造成開発の指導は

問 旧大泉村では一区画の宅地造成面積を五百平方メートル以上と指導している。北杜市全域の山間地では、自然環境保全からも五百平方メートル以上にすべきだと思いが。市長 七町の地域特性、実情に配慮して旧大泉村の一区画の面積五百平方メートル以上を参考に、でき得る限り五百平方メートルとして、区画上や

地産地消の推進と指導は

問 大泉町において地産地消の販売施設など整備したいが、県・市の支援の対応は。市長 学校給食の食材提供をしたいがどうか。

事業計画が提出された次第、県に対し支援の要請をし、円滑に推進されるよう支援する。



北杜市から望む富士山

現在も地元産の米、野菜など使用しているので、引き続き安全面などに配慮し、地元産の食材の使用に努めていく。

人事評価制度の導入を

ほか1件

小林忠雄議員

須玉町



市民と行政の和を

問 職員定数条例では七名と定められ、職員の人事管理の面から人事評価制度の導入は必要と考える。

正しい人事評価による公平、公正さが職員の育成と士気の向上にもつながり、緊張感のある協働関係が保たれ、従来の年功序列型から、能力のある者の登用は職員適正化計画も早期達成が図られ、財政の強化につながると考えるが、見解を求める。

今後の検討課題

市長 地方分権の進展に対し、質の高い行政サービスを効率的・安定的に提供するためには、持っている能力を最大限に発揮できる仕組みが必要である。人事評価制度と地方公務員制度改革は、国による法律改正等の制度改革を注視しながら山梨県で試行している。新しい内容や結果を参考にし、導入内容や時期を検討したい。

物品の調達・

工事発注は市内で

問 バブル崩壊後、商業者は規制緩和による許認可の自由化・大型店の進出などにより、規模の縮小や閉店を余儀なくされ、商店街は活気を失っている現状である。

一方、建設関係は公共事業や民間の設備投資が減少し、苦しい経営環境となっている。

商品の調達や工事発注は商工業者の振興や雇用の

の増加につながる。対応についての考えは。

市長 我が国経済は景気低迷が長期化し、特に中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい。このような中で、地域経済の活性化や商工業の振興は緊急の課題である。

市の建設工事や物品の調達は、競争力を十分に高め、より透明性の高い入札、契約制度を構築して、可能な限り地元業者の育成を考えて発注したいと考えている。

武川・白州は水稻の地域間調整のような作付け緩和を

ほか1件

小澤宜夫議員

武川町

問 十六年まで、武川町・白州町は、適地適作の考えのもと、米の生産目標数量の加算ができる地域間調整を行なってきた。これは、10アール当たり自治体が二万円、農家負担金一万円で作付けができる制度であった。合併後は、目標数量の、地域ごとの傾斜配分ができるか。それとも助成金による地域内調整ができるか。

配分については継続していく考え
市長 市の水田面積は二九二七ヘクタールで、県内有数の水田地帯である。平成十七年度は、国から県へ二九三三トン、対前年比六七トンの率にして二%の減で、過日知事に対し、大幅な増量配分を要望し、その結果北杜市への配分は九八一・三トン、対前年比一〇二・八トンの増量配分である。

市内への配分については、従前どおり各総合支所単位を基本とし、生産調整の目標数値達成に努力するとともに、合併以前からの地域間調整の経過もふまえ、継続していく考えである。

大豆の価格補償は
問 武川では、転作作物の大豆の買い取りに、キロ百四十円の助成をしてきたが、このような各地の個別助成はどうなるか。
統一見解を
企画部長 旧町村ごとの助成制度がまちまちなので、水田農業推進協議会を立ち上げ、統一の見解



収穫の喜びを...

を出していきたい。

台風災害による生活道路の復旧を急げ

ほか3件

内藤 昭議員

須玉町

問 台風災害の概要は、生活道路である若神子境之沢線の早期復旧は。
市長 今年十回以上の台風上陸があり、そのうち23号の被害が最も大きく、市内では農業施設を中心に四十一件の被害があった。
若神子境之沢線については、今議会に予算計上した。
須玉小に夜間照明の設置を
問 町内にはスポーツク



設置が待たれる夜間照明

クラブやスポーツ少年団等が多数あるが、夜間使用するグラウンドが少なく、

須玉小学校の校庭に夜間照明の設置を望む声が多いが。

地元と協議

市長 須玉小学校の夜間照明は、今後は北杜市として近くの施設も検討しながら、地元住民と協議していきたい。

ケーブルテレビの早期接続を

問 ケーブルテレビの早期接続を望む下和田地区等、難視聴地域への対応は

市長 ケーブルテレビの接続は、全地域の現状を調査の上、一体的な情報化の推進を図る。難視聴地域への接続は、他の難視聴地域の現状や二一年までのデジタル化を考慮しながら、早期に接続できるよう検討する。

若神子大蔵線

問 若神子大蔵線の早期完成について、今後の見通しは。

県に強く要望

市長 現在は須玉郵便局の移転場所も含め話し合いを行っている。総務省の協議や許可が必要なため、県や市の担当が国に出向き協議を進めており、許可が下り次第、契約し、移転後工事を行う。
極めて重要な生活道路であり、県に強く働きかけていく。

少子化にどう取り組むか

ほか2件

渡邊英子議員

長坂町



すこやかに育て

問 昨年の北杜市の新生児は二六一人と、少子化は止まらない。親の労働条件整備、保育士の増員、保育時間の延長や保育施設の整備、子どもの教育の充実や経費負担の軽減など、国の基準をとり越えなければ対応できない。

少子化対策についてどう取り組んでいくのか。
保育料は十一月から軽減
 市長 十一月から保育料を軽減している。各保育園では、一時・休日・延長保育のほか、乳幼児医療費助成、放課後児童クラブ等子育て支援を実施している。また、次世代育成支援対策、地域行動計画などで、可能なものから実施していく。保育士の増員は、国の基準を

参考配慮し、親の労働条件については、企業に情報等を提供して協力をお願いするなど、少子化には全力で取り組んでいきたい。
施設の効率的利用
 問 北杜市には、社会教育施設など、二八〇以上の施設がある。後年度負担や費用対効果を考えると類似施設が多すぎないか。施設の効率的活用方法については。

見直していく
 市長 類似施設が多いことは、反省する点もある。施設は、市民が利用しやすいよう見直しをしていく。
 温泉施設は、所在地の住民と同額で利用できるよう条件整備した。

長坂町の夏秋工業団地へ企業誘致を
 問 当工業団地は、指定以来、入居は進んでいない。隣接地に「ふれあい支援農道」が計画され、企業誘致に、地権者や地域の期待は大きい。新たな土地利用を含め、企業誘致を積極的に進める必要があるが。
全力で取り組む
 市長 この件は、合併協の運営調整会議の中で、旧長坂町長から重い宿題として伺っている。優良企業の誘致に全力で取り組むとともに、地元関係者と協議し対応していく。

旧町村のイベント継承と北杜市のイベントは

坂本 静議員

須玉町

問 合併前、七町村でそれぞれ地域の特性を生かした祭りやマラソン大会など、多くのイベントが開催されてきた。たとえば須玉町の甲斐源氏祭り、マラソン大会、高根町の高根いきいきふるさと祭り、明野町ではダイコン

地域の特性あるイベントは市で継続

市長 合併前七町村で地域の特性を生かした特色あるイベントを開催してきた。明野のダイコン祭り、須玉甲斐源氏祭り、高根いきいきふるさと祭り、大泉ふるさと夏祭り、長坂の名水国蝶オムラ

サキの里祭り、白州の里名水を祭り、武川米々祭りなどが地域の祭りとして定着し開催されてきた。スポーツ関係では三つのマラソン大会があったが、今年は須玉マラソンだけが実施された。これは、各地域の自然や特性、特産品を生かし、特色ある行事として産業振興や地域の活性化に寄与し、多くの人々の交流の場として欠かすことのできない行事となっている。合併協定項目でも、地

域の特性あるイベントは新市でも継続し、そのあり方については総合的に検討するとなっている。これらのイベントは従来一般住民や公共団体による実行委員会方式、町の主催方式があつたが、実行委員会方式で開催することにより、住民のアイデアを取り入れた手作りの祭りが望まれている。厳しい財政状況なので、花火大会、タレントの出演など共通するものは統合を検討する。



心はずむイベント！

また北杜市が団結して発展していくためにも、各種イベントは必要と考へる。北杜市の新しいイベントもこれから協議をしていく。

北杜市の土地開発 事業適正化条例は

ほか3件

鈴木孝男議員

武川町

問 一区画の面積はできる限り五〇㎡以上になっているが。

市長 最低でも三〇㎡以上で指導していきたい。

問 設計技術細目の中で、建物の後退距離が前面道路の境界より五m以上、隣地境界より三m以上とあるが、従来どおりにはできないか。

市長 細目通りとする。ただし市長が支障がないと認める場合にはこの限りではない。

問 分譲地内の緑地割合

は三%にできないか。

市長 清里駅前、長坂駅前以外は二%とする。

問 開発区域に進入する道路は四m以内に、また開発申請書類の受け付けは常時受け付けとし、許可または不許可は一カ月以内に通知することはできないか。

市長 県經由の開発については二カ月以内に行えるよう努力する。

問 情報公開の観点から開発許可を受けた土地の閲覧はできるか。

市長 情報公開審査会の中で検討したい。

県道について

問 日野春のトンネルを抜けて141号までのバイパス計画は。

市長 橋梁を含め、五mの設計が終わり、用地測量に入る予定。

問 釜無川橋に歩道の設置を。

市長 県に歩道の設置を要請していく。

問 新開地から柳沢までの道路の拡幅と歩道の設

置を。また柳沢地内は大武川沿いにバイパスと、駒城橋の架け替えを。

市長 牧原工区としては六m間用地測量済み。今後は用地買収。柳沢については総延長七mを計画しており、駒城橋の一四四mを含む。

循環バスの運行

問 武川町内を一日四回運行しているが、登下校の子ども、葦崎行のバス、火曜日が休みの打開策は。白州も含めたバスの運行

を。市役所、塩川病院、高校に行くにも足がない。

市長 一体的な都市づくり、地域間交流を密にし、各地域の公共施設へのアクセスとしての役割を果たす。

伝言板の設置を

問 広報の中に「市長への伝言板」と書いた葉書を年二回くらい配布してはどうか。

市長 伝言板の創設は、広聴業務の一つとして検討する。

梅之木遺跡の保存対策は

ほか1件

秋山俊和議員

明野町

問 山梨日日新聞に、梅ノ木遺跡で新たに二十軒ほどの縄文時代の竪穴式住居が発見されたと掲載された。

梅ノ木遺跡は縄文時代の中期のものである。

旧明野村協議会の研修で、佐賀県の吉野ヶ里遺跡を見学した。この遺跡は、弥生時代中期のもので、古代人の生活形態が見事に再現されていた。

小・中学生の修学旅行など多くの見学者もいた。将来的には梅ノ木遺跡も、

観光バスを年間一万台ほど呼べる事業になるのではないか。

国の文化庁をはじめ、関係省庁に働きかけ、史跡として再現できるように今後どのように対応するのか。

調査継続する

市長 北杜市は旧明野村梅ノ木遺跡確認緊急調査事業を引き継ぎ、十七年度も国・県の助成金の交付を受け、考古学の専門研究者等、指導・助言を

受けながら確認調査を継続していく。

それなりの価値があるなら、国・県と協力し、復元も考えなければならぬが、今後の発掘の進展を見守る。

問 次に本市の乳幼児医療費助成制度は、通院の対象年齢は四歳まで、入院は未就学、月七〇〇円の自己負担で、助成方法はすべて償還払い、これは県内十一市一町の中で最も低い。今後改善する

考えがあるか。また、対象年齢を未就学までとし、自己負担をなくし、償還払いでない助成方法はとれないか。前向きに検討できないか。

現行制度を維持

市長 子どもの医療費助成制度の月七〇〇円の自己負担については、財政が逼迫しており、七〇〇円負担の現行制度を維持していく考えである。

償還払いの改善は、北杜市でも市内の医療機関



たのしいな汽車遊び

の協力が得られれば、国保加入者のみ実施することは可能だが、開業医の医療費請求事務が煩雑になることや、社会保険加入者との公平性に欠けるなど問題があり、当面は現行制度により実施する。

北杜市の次世代育成支援

ほか2件

細田哲郎議員

白州町

少子化対策は

ほか1件

内田俊彦議員

須玉町

問 市の次世代育成支援対策構造計画の方向性は、市長 児童館等を活用した保護者の留守家族対応、各種手当の支給で経済的側面支援、育児相談窓口などによる保護者の精神的支援の三点を基本に、支援対策協議会を十二月六日にスタート、十七年三月中旬に計画書を作成、市民に示す。

問 介護予防と健康増進による高齢化対策は、市長 一時予防は、施設利用による水中運動、ストレッチ等の健康教育的メニュー教室を開催。二次予防は、機能低下や痴呆症状などの実態を把握し、パワーリハビリなどを実施。三次予防は、自立支援を目指したプランに基づくサービスの提供、また、健康診断で、疾病早期発見、早期治療に努める。

問 子どもの「こころ」を育てる教育は、市長 豊かな人間性、生きる力を育成することが重要で、ボランティア活動、あいさつ運動、福祉施設の訪問と交流等々、家庭や地域と連携して道徳性を培い、他人を思いやるこころを育てていく。

問 地域経済の活性化に向けた取り組みは、市長 中心商店街の整備などの推進、共通商品券の発行、観光と農業を含めた新たな企業起こし、優良企業の誘致を積極的に進め、若者が定住できる雇用の場確保に全力で

問 平成十七年度予算編成方針は、市長 地方交付税は、ほぼ今年度並みで、市税収入は五十五億円程度、国庫負担金の削減、臨時財政特例債も二三・二%減の厳しい財政の中、効果優先度を精査し、予算の重点的、効率配分も行う。また、合併に伴う財政支援額は国の合併補助金が三年間で五・一億円、県の特例交付金は五年間で

問 結婚・住宅・医療・働く場の確保が大切である。北杜市として今後、各事業所や諸団体の交流を通じ、結婚のサポートができないか。

少子化対策には全力で当たる

市長 管内の事業所や諸団体の理解をいただけたら、若者同士の出会いの場が持てるよう、今後とも働きかけをしていきたい。



建設中の明野市営住宅

問 新婚世帯の住宅不足について、結婚と同時に公営の団地不足のため他の市町村に居を構えるケースが多々ある。新婚世帯の住宅不足についてどう考えるか。

市長 現在、明野町に三十戸を建設中、高根町で四十八戸を県に事業認定の申請中で、取得計画に基づき順次計画し、公営住宅は入居制限もあるので、民間住宅建設にも積極的に協力をお願いしていきたい。

問 二十四時間体制も含め、塩川病院、甲陽病院に小児科の実現に向けてどのように進めていくか。

市長 所信表明のとおり、子育て支援の一つとして、両病院のいずれかに常設の小児科の設置を考えている。

問 定住できる地域の職場確保を。地元企業の育成と企業誘致が不可欠であると思うが、今後の取り組みはどうか。

市長 働く場の確保は若者の定住対策として大きな要素であることは、ご指摘のとおり。地元企業の育成はもとより、公有

財産等を活用して、優良企業の誘致に向けて努力していきたい。

ソフト面のインフラ整備を

問 各地域に光ファイバーケーブルが設置されている。民間の参入も視野に入れた効率良い活用は、市長 ケーブルテレビ等の対応、民間企業との相互連携を視野に入れながら活用を図っていきたい。

県道台ヶ原・長坂線の 整備を早急に

ほか1件

秋山九一議員

長坂町

問 国道20号、台ヶ原花水、中丸を経由し長坂インター、そして一四一号を結ぶ道路は、途中、花水坂があり、急勾配でいくつもの急カーブのため利用者も少ない。なぜ、ここだけ道路整備が残されているのか。バイパスはできないか、という住民の声もある。安全なアクセス道路を早急に整備する考えは。



急カーブで危険がいっぱい

国道20号「花水橋」整備計画

市長 国道20号から花水橋まで九メートルは整備計画がされており、

詳細設計が地元住民に承認されれば、用地買収、工事を行う。

花水橋から中丸地区はすぐにバイパス化は大変だが、花水橋から中丸地区、長坂インター、国道141号への道路は市としても大変重要な路線である。順次、県に整備をお願いしていきたい。

国道141号からのふれあい支援農道整備を急げ

問 現在、工事の進んで

完成めざす

市長 現在の進捗状況は本年度長坂工区は夏秋区内から長坂中学前まで完

成、高根工区は小池地区から八ヶ岳公園線間の二四メートルが施工され、すでに施工済みの二キロは、公安委員会と協議が整い次第、十六年度中に供用開始したい。
十六年度の進捗率は五・四％。用地買収は国の予算分配の関係もあり、今後さらに予算が厳しくなると予想するが、二年度の全線完成に向け、県との連携を密にしていきたい。

市長所信「福祉の見直し」 発言の真意は

ほか4件

中村隆一議員

長坂町

「聖域なき見直し」が必要

市長 極めて厳しい財政運営のもとでは、聖域なき見直しが必要であり、福祉の内容を精査した中で実施していくことが必

明野最終処分場

問 市長所信で「明野最

終処分場建設に向かって全力で当たる決意であり、市民ははじめ関係者のご理解とご協力をお願い申し上げます」と述べた決意の根拠は何か。
市長 十月二十八日に開催された峡北地区最終処分場検討委員会において合意がされている。したがって、北杜市としては、その検討結果を十分尊重しながら、建設に向けて県との連携調整を図っていきたくと考えている。

バイオマス事業は

問 バイオマス事業は、畜産農家の要望をよく聞いて、バイオマス以外の方法でやる気はないか。

新たな用地の選定へ

市長 畜産農家とも相談しながら、新たな建設用地の選定に努めている。決してバイオマス方式にこだわっているわけではない。

車椅子用通路を

問 市庁舎入り口に車椅子用の通路改修計画は。
市長 西側のスロープを長めに改善していきたい。



北杜市役所玄関

バイオマス施設への 取り組みは

坂本治年議員

高根町

問 バイオマス施設は地球温暖化の防止、環境型社会の形成、農林漁業、農山村の活性化を柱にバイオマスの利活用を積極的に推進し、糞尿による高品質堆肥の生産とメタンガスからの発電、発熱といった新エネルギーの創出と利活用など、畜産農家のためばかりでなく、市民の生活環境の保全を図る地域環境政策であり、また出来上がった堆肥を使用した有機農産物を推進する農業政策でもあるが、

バイオマス施設への取り組みは、
畜産環境の改善整備を促進する
市長 環境意識の高まり、生活環境の向上による畜産農家と住民の間で、悪臭などに対する問題が発生し、畜産環境の改善整備が強く求められている。BSE、O157問題などで、経済的な大打撃を受けた畜産農家にとり、新たな投資は困難な状況である。

こうした中、バイオマス利活用フロンティア事業を取り入れ、専門家、有識者等で構成する「畜産環境保全推進協議会」で協議してきた。
畜産農家の切迫した状況を判断する中で、必要不可欠な施設として、用地購入費として、一億三、一三一万七千円を予算化した。
地元および周辺住民の理解と同意の中で推進したい。



新エネルギー対策は

福祉見直しの具体策は

ほか2件

岡野 淳議員

大泉町

問 厳しい財政状況の折、福祉の見直しもあるというが、具体的に何をどう見直すのか。
市長 現行のサービスは継続するよう努めるが、真に支援を必要とする人には、サービスを提供するなど、メリハリのある予算を考える。
問 財政が厳しいなら職員、議員ともにコストの削減を必死に考えなくてはならない。先に予算カットではなく、よけいな

支出の抑制から始めるべきでは。
市長 最少の費用で最大の効果を発揮できる行政システムを構築するには常に事務の効率化に心がけ、経費の節減に努めなければならぬ。改革を進めるには自らが主体的に変貌しなければならず、行政改革推進委員会を早期に立ち上げ検討したい。
問 福祉予算に関してスタッフの増員、養成にも予算をつけられないか。

市長 弱者に対しては今後も心を寄せて対応していく。
地域委の公募増を
問 地域委員の人選で重要なことは、メンバーに積極的に市政への参加意識があるかどうかだ。従来型の人選では市長の考えに近い有力者が多く集められる可能性もある。民意反映のためには公募枠が半分でもいいのでは。
市長 全体で五四人の応募者のうち二八人を予定



北杜市地域委員会委員任命式

している。地域委員会の意見を聞き、民意を反映

させたい。
別荘地等の開発規制を
問 別荘地等の開発規制は最低五mか。
市長 旧七町村で最も厳しい旧大泉村の一区画五m以上を参考にして設定したい。

新生北杜市の行政運営

ほか1件

篠原眞清議員

明野町

問 北杜市が目指した地域となるためには、住民の声をより多く政策に反映すること、また、住民の知恵と力を活用し、参画を得るシステムづくりが重要と考えるが、市民の地域づくりの具体策は何か。
市長 市民主役の行政をさらに一歩進め、参画し、行動していただくことが今後のまちづくりでは重要である。
行政依存型から、市民と行政による共同のまち

づくりへの転換が必要である。
財政運営について
問 合併時の地方債残高は三九四億円、平成十六年度北杜市一般会計決算額は、三八〇億円内外が見込まれている。
これらの行政需要を踏まえ、さらに新市建設計画を実施することは大変厳しいが、合併構想の実現と財政健全化に対する考えは。
市長 新市将来構想諸事

業実現のためには、合併特例債事業の計画を基本に推進の必要あり。収支バランスを取りながら、
明野最終処分場問題への認識と今後の対応は
問 明野村が山梨県に行った提言の主要部分の条例化を受けて、十月二十八日に開かれた峡北地域処分場整備検討委員会で、明野村の意向として、現在地での受け入れを拒否するとともに、山梨県

安全性、情報公開に基づく候補地選定と、住民合意等の条件を順守することを前提に現在地以外の村内適地調査の受け入れを表明した。これらの経過に対する認識と、今後の具体的対応は。
安全性の担保を取り明野地内に建設を目指す
市長 安全性に十分配慮した施設整備を推進すべきだと考える。また処分場の安全性の担保を取り、関係住民の理解を得て明野地内での建設をめざす。

知的資源の活用のために情報の共有が協働の原点では

ほか1件

千野秀一議員

大泉町

問 「人と自然が躍動する環境創造都市」を宣言し、スタートした本市はその地にある資源の再構築のチャンスと考える。
しかし、マンパワーの活用は、現行の行政システムでは十分ではない。地区未加入者との協働のため、情報の共有に努めるべく、適切な地区割り、巨大番地の見直しなどは急務だ。その対策は。
行政地区の改革を図る
市長 行政からの情報伝

達は、地区長配布と公共施設に配置とするが、地区の戸数はバラつきがあるので、改変を図りたい。
問 福祉事務所の役割とメリットについて市民は大きな期待をしている。また、介護制度の見直しについての対応は。
専門職を配置し細やかなサービス
市長 市には福祉事務所の設置が義務づけられ、福祉専門職が配置され、

細やかなサービスが提供できる。
1 (生活保護) 諸事情による生活難者に経済援助、自立への助言
2 (障害者福祉) 障害者、特別障害者手当取扱窓口の設置。
3 (児童福祉対策) 家庭児童相談室の設置等
地域密着型の総合福祉の充実が図れる。介護制度の改定には、今ある介護予防施設を拠点整備事業として充実活用し、自立に向けた介護予防の指

導を、保健師を中心に努める。
問 水、太陽、緑を資源とし産業化を図る。そのため独自の厳しい保全の基準が必要と思われるが、また都市計画のゾーンの予定は。
先進地めざした取り組みを
市長 北杜市新エネルギービジョンの策定を予定しており、先進地を目指した取り組みと、環境保



クリーンエネルギーの先進地をめざして！

全は、土地開発条例と指導要綱で厳しく守っていく。また風致地区については検討したい。

環境日本一の 潤いの杜づくりを

ほか1件

五味良一議員

明野町

問 自然環境の破壊に加え、農林業従事者の高齢化、所得の減少、若い担い手の減少などにより生産活動が低下し、耕作放棄地や、間伐がなされない森林が増加するなど、里地、里山の荒廃が進行している。このまま放置すれば北杜市の生活文化、自然環境が破壊されてしまふ。公的な補助の役割を望む声が多く、北杜市は都市に均衡した農村の地域性を生かし、都市との交流を深め、里山の景

観、伝統文化、行事などを大切にし、人間生活の真の豊かさを追求するため、自然とそこに暮らす人との共存を目指すことが大切であるが。

市長 里山は多様な生き物たちの生息環境であると共に、人に安らぎとゆとりと優しさを与えてくれる大切な場所。また水源涵養、国土保全、地球温暖化防止のよりどころでもある。今、手を入れればやがて価値ある山になるはずである。民間の

森林ボランティア団体や企業、市民との連携を図り、多彩なイベントを通じて森林整備の必要性を普及、啓発すると共に、森林、緑に対する市民意識の向上を図っていきたい。

災害復旧を早く

問 今年何度重なる台風による災害で、北杜市各地で大きな災害が発生している。早期復旧の考えは。

16年度中復旧へ

市長 台風22号・23号により北杜市の明野、須玉高根、白州地域が多大な被害を受けている。農地、農業施設の災害復旧は、災害復旧法に基づく算出基準により復旧を申請し、国の査定を受け、予算範囲内での施工となる。

平成十六年度中に復旧工事が完了し、耕作等に支障のないよう進めたい。



台風の影響で陥没した道路

防災体制の整備は

ほか2件

小尾直知識員

長坂町

問 災害時の初動体制の確立と設置は。

市長 市災害条例で本部を設置するが、大規模地震災害時には特措法により、予知段階から警戒本部を設置し、速やかに災害対策本部へ移行する。

問 被害情報の収集体制の対応は。

市長 各総合支所からの情報を収集管理し、迅速かつ正確に被害状況把握し、適切な対応をする。

問 各種団体や自主防災組織との協力体制は。

市長 各地域の行政区を自主防災組織と位置付け、社協、消防団、交通安全など各団体との連絡を緊密にし、災害に強いまちづくりを進めていく。

問 子ども達の安全対策と防犯ベルの配布状況は。

市長 小学校では全員に貸与または支給が十四校中十校あり、他の四校のうち三校は三割の生徒が所持、まったく所有して

いないが一校。中学校では貸与または支給が七校中四校、他三校は二割が所持している。児童生徒の六九%の配布状況である。全員に配布できるよう努力する。

問 登下校時のスクールバス運行は。

市長 スクールバスと市営バスで対応しているが、学校統合時の条件や、遠距離の場合があり、教育委員会が条例等を制定し運行している。

教育長 凶悪な事件、事故が場所を選ばないので、非常に心配である。対策は、子ども110番の家、警察などの連携、保護者や地域での啓蒙を計画したい。

バス運行の基本は教育委員会だが、各学校にまかせている。

問 訪問型一時保育の導入は。

市長 平成十六年一月に、構造計画策定アンケートによると、この制度の要

望があり、分析し、必要が高いとなれば、平成十七年度以降に実施する。

問 産前産後から小学六年の家庭にサポーター派遣は。

市長 市では産後支援ヘルパー制度が設置され、看護師、保育士が訪問し、育児・家事の援助相談を行っている。一回二時間以内で十日間まで可能。

税収の確保は

ほか2件

浅川富士夫議員

大泉町

問 国から地方に権限を移す三位一体の改革では、行財政の健全性のため自主財源確保は最も重要な課題と考えるが、平成十五年度滞納額と不納欠損処理額は、滞納者に対する今後の徴収方法は、市長 滞納の現況は別表どおり。

延滞納税者に対し、動産、不動産、有価証券等の調査を含め、関係諸官庁との連携および国、県、市の三者共同により、戸別

問 東海地震防災対策

の進捗状況は、

強化地域に追加指定を受けたが、改善を要する箇所と整備計画は、公共施設の耐震補強

訪問による指導で徴収率の向上を図る。

(単位：千円)

| 町村 | 滞納額 | 不納欠損処理額 |
|----|-----------|---------|
| 明野 | 3,142万 | 1,029万9 |
| 須玉 | 1億2,548万2 | 1,285万3 |
| 高根 | 1億2,779万9 | 421万2 |
| 長坂 | 6,657万 | 140万2 |
| 大泉 | 5,132万1 | 376万8 |
| 白州 | 4,034万3 | 941万7 |
| 武川 | 1,621万1 | 279万5 |
| 合計 | 4億5,914万 | 4,474万6 |

防災行政無線整備事業の内容は、市長 北杜市の全域が強化地域の指定を受け、二十二万所の急傾斜地があり、今後改善の必要性について検討する。

新耐震基準に対し外れた建築物は八カ所あり、早急に改善を計画する。

現在防災設備は本庁から一斉に放送できる体制にあるが、今後一本化した周波数によるデジタル化が必要になる。

問 大泉町西井出八二四番地は面積四四ヘクタール、戸数五九戸、該当人員一、二九人の広大な面積であり、地番枝番で言われてもどこか判断ができない。行政、防犯、防災、救急医療時の対応と区画表示は、市長 地番変更は法務局の管轄であり不可能である。清里にも同様な所があり、場所表示として住居表示なら可能性があるので、研究課題としたい。

「環境日本一の潤いの杜づくり」の具体策は

ほか1件

日向万仁議員

高根町

問 今、環境問題というと、地球規模で問題となつている地球温暖化問題である。

北杜市の水と太陽と緑は日本一であり、言い換えればクリーンエネルギーを生み出す要素も日本一といえる。この問題への対応は、市長 環境基本条例の中に位置付け、太陽光、水力など新エネルギー計画も視野に入れ、具体的計画策定に取り組みたい。

新たな環境問題とは

問 同じく所信表明の中に、新たな環境問題への取り組みとあるが、新たな問題とは何か。また、それへの対応は、市長 すべての生産活動土地開発、森林破壊等直接、間接的に環境に直結している問題である。対応としては、たとえば森林を整備し、本来の森の機能を回復し環境保全を図るということです。

問 環境日本一を目指すなら、環境専門部局と専門委員会の設置を。

基本条例の中に位置づける

市長 複雑かつ専門化する環境問題には、そのような対応が必要になるが、環境基本条例中に環境審議会設置を規定し、環境保全全般に関する審議を図りたいと考えている。



高根町から望む八ヶ岳

声のひろば

koe no hiroba

北杜市議会だよりでは、毎回市民のご意見・ご要望などさまざまな『声』を掲載してまいります。今回は7名に執筆していただきました。これからも投稿をお待ちしています。



みんな元気に大きくなれ!!
(日野春保育所)

輝ける 北杜市に期待



明野町 宮川久子

平成の大合併で誕生した北杜市もスタートから三カ月が過ぎ、各地区から立派な市議会議員が選出され、女性の行政参画が叫ばれる中、三名の女性議員も誕生しました。激動する世にマッチした行政の推進を大きく期待するところです。

少子高齢化時代突入の中、人口減少時代を迎え、国を支える力が危ぶまれる危機感を覚えます。女性の社会参画が進む中で、出産・育児を妨げる因子を排除し、働きながらも人間とし生き甲斐を感じ、生活できる社会の構築を早急に作る必要を提言します。県から提唱されている子育て支援施設の充実と拡充についてもいち早く行い、力強い輝ける北杜市づくりになることを願います。

子どもたちの 未来のために



長坂町 清水令美

新市の誕生と共に誰もが夢や希望を描き、明るい光へと向かって歩を進めようとしています。

しかし実際には大変厳しい時代の中にあります。だからこそ私たちは行政に頼るのみでなく、行政と市民がそれぞれの責任を果たしつつ市民の参画と協力が必要であると思います。

誰もが「住んでよかった」といえる市をめざして、互いに努力することが必要です。

それには働き盛りの人々に元気を与え、青少年や高齢者には安心して生活できる環境を整えていくことです。

北杜市の未来は子どもたちの育成にあります。

私たち大人の願いは出生率が増加し、その子どもたちが明るい未来に向かって進むことができることです。小さなことでも私にできることを探そうと思います。

「自立」のまちづくりと 産業の活性化を



須玉町 三井正好

国の施策に沿って進められ、昨年十一月一日に誕生した北杜市ですが、今地方が求められているのは「自立」であると思います。国から地方へ交付される補助・助成は間違いなく減少します。その中でいかに自立していくかが課題であります。

市民は、「困ったことは何でも行政が解決してくれる」という考えは捨て、市は、国や県に依存する体質を変革していくことが強く求められます。市には、効率の良いスリムな行政体制をつくらせていただきたいわけですが、併せて力を入れて取り組んでほしい課題は、産業の活性化です。企業誘致、地場産業の育成などにより、地元雇用の拡大、人口の増加を図ることが、「人と自然の躍動する環境都市」へつながる道であると思います。

北杜市に望むこと



大泉村 奥本道子

子どもたちが思いつきり、裸足で走り、ころげ回れる安全な草原づくりです。土の匂い、柔らかな草の感触を全身で受け、五感を育て磨かれた感性は、将来必ず役に立ちます。車社会だからこそ必要な歩道の充実です。ベビーカーと幼児、学生、高齢者、車椅子に乗った人、誰でもがこの美しい大自然に感謝しながら、安心して、どこまでも歩いて行ける、木陰とベンチのある歩道づくりです。

次に障害者の社会参加の場となる小さなカフェ作りです。彼らが焼いたクッキーやケーキを供しながら、来て下さった人々との交流で感じた喜びは、彼らの生き甲斐へとつながります。

最後に、本庁と各支所との一体感を持つのに、北杜市のシンボルとなる樹を、各庁舎の前庭に植えるのは、どうでしょう。花を愛で、樹々の成長を見守る市民の心が北杜市の発展の力となることを、信じます。

弱者にやさしい市政を



武川町 小俣静代

北杜市誕生より早や三カ月が過ぎましたが、いまだ実感が湧いてきません。それというのも今まであまり行政というものを深く考えることがなかったこと、またその反面身近で恩恵を受けていざざたことに原因があるかと思えます。私たちは、仕事と家庭を両立させるため毎日時間に追われるような生活をしていきます。それ故今後は、今まで以上に行政サービスが必要になってくるかと思えます。できれば今後も支所ごととにいろいろな行事をしてもらえるとありがたいと思います。すべての諸行事を中央へ中央へもつていくのではなく、せめてお年寄りや乳幼児に関すること、また総合検診などは、近くで行ってほしいと思います。弱者を思いやる、やさしい行政を今後も望みます。

美しい自然を生かしたまちづくりを



白州町 篠原 充

わたしは昨年末に北杜市に転入してきました。北杜市は大自然にめぐまれた、とてもいい町が集まってできた市であると思えます。

『人と自然が躍動する環境創造都市を目指して』というスローガンをもとに、このめぐまれた美しい自然、清らかな豊富な水資源など、今までもつているいいところを十分に生かし、急がず、じっくり吟味していいまちづくりをしていってほしいと思います。そして、ますます進む少子高齢化にも十分対応できるように、豊かな自然を大切にし、人にも環境にもやさしい北杜市の街をつくってください。

北杜市議会に期待する



高根町 清水健雄

新春を迎え、お慶び申し上げます。北杜市初議会をケーブルテレビで視聴し、市議会議員各位の意気込みと、北杜市七地域の問題点の一端をも、よく拝見させていただきました。

議員の発言の機会もこれから本番一言ひとことに各地域の考え方や着眼点を感じさせ、市民の期待と市全体の問題を集約し、意義深い議会運営が行われることを望みます。当然ながら、一地域に偏することなくお願いしたいものです。特に検討を重ねていただきたいことは、暮らしの安定のため財源の確保、暮らしの安心確保のため危機管理体制の始動、将来のため子どもの教育水準等々、自然と人の調和を求めながら、北杜市議会の協力を希望します。



北杜市ウォッチング



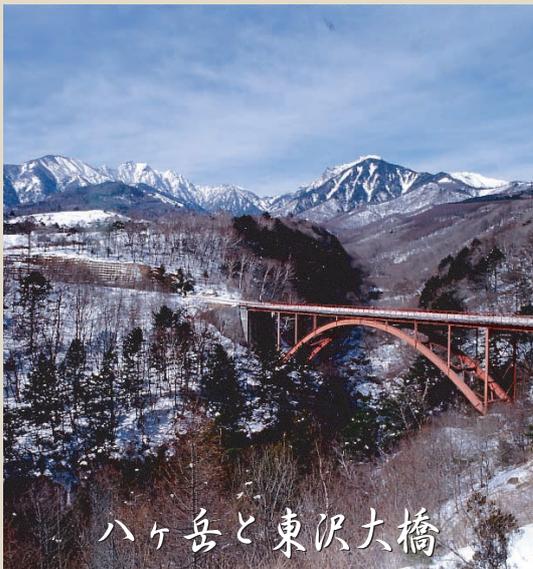
北杜市の将来は私たちが担うわ!



雪だ、雪だ、わーい。



凛々しいラッパの音色!



ハヶ岳と東沢大橋

編集後記

凛とした星空の輝きが美しい季節です。

人と自然が躍動する、環境創造都市実現に向けて、市民の皆様のご意見を大切にしながら、北杜市議会としての第一歩を踏み出しました。

「北杜市議会だより」は議会の審議、運営活動等の状況を広く市民の皆様を知っていただく目的で、年四回の定例会ごとに発行することといたしました。

今回の「議会だより」一号には、北杜市議会最初の臨時議会および十二月定例議会の様子を掲載いたしました。

「創刊号」発刊に当たり、編集委員一同、記事の内容、割付、レイアウト、写真の活用などを考えました。

これからも読みやすく、親しまれる広報づくりに努力してまいりますので、ご愛読をお願いするとともに、ご意見もお寄せください。

議会広報編集委員会

| | |
|-------|-------|
| 委員長 | 中村 勝一 |
| 副委員長 | 渡邊 英子 |
| 委員 | 五味 良一 |
| | 内藤 昭 |
| | 鈴木今朝和 |
| | 中村 隆一 |
| 議会事務局 | |
| 局長 | 三枝 基治 |
| | 小澤 永和 |
| | 樋泉 留美 |

